

6月19日 デロイト・トーマツ・コンサルティング合同会社 執行役員 藤田 泰嗣氏

学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ

本日はお忙しい中にも関わらず、貴重なお時間を割いて講義をしてくださりありがとうございました。本日の内容としては、仕事に対する向き合い方という視点から始まって、人間的な生き方というところにまでつながるようなお話だったと感じました。全体的に学べる内容というのはとても多かったのですが、個人的に教育学部の人間であったため、その観点からも非常に多くのことを感じ取れる部分がありました。例えば講義の中で話されていた3つのAというところは、教育というコンテンツ全体への広まりはまだであるものの、保健体育分野や数学教育の分野など、多くの専門教科においてはその考え方という部分が次第に浸透してきているところであるため、自らの経験と照らし合わせても感じるところがありました。

また、AIに対する向き合い方、読書の仕方などは、私自身の専攻分野である国語教育とも密接に関係しており、その点に関して、とりわけ後者の読書の仕方という点に関しては、国語教育分野全体としてしばしば議論される場所であるために、本日の電子書籍反対論に関しては、大いに私自身も賛同するところがありました。

また、数年前から学校現場ではタブレットの一人一台を推し進めるようになっているのですが、先述したAI関連や、子ども自身が物事に対してどのようにアプローチさせるかという観点から、ただ与えるだけでなくそれをどのように活用させるかという観点が非常に重要な点であるということを再認識する時間でもありました。

この講座の本質とはずれたポイントではあるかもしれませんが、個人的な経験から、再認識させられるようなポイントが多かった講義であったので、個人的には非常に有意義な時間になったと感じています。最後になりますが、本日は我々学生のために講義をしてくださり、本当にありがとうございました。(教育学部2年)

本日は講演ありがとうございました。今日のお話を聞いて、今までの自分の価値観や考え方が大きく変わりました。まず、変わった点は、お金が入ってから使うということではなく、お金を使ってから収益としてお金を回収していくことです。自分は将来、起業することも視野の一つに入れています。もし、本当に起業するとなったら、自分が経営者となり、自分でお金の使い方を決めなければなりません。自分は少し、ケチな側面があり、お金を使うことを渋ってしまうことがあるので、これからはお金を使ってから、収益が入ってくるということを頭の片隅に入れ続けていくようにしようと思いました。

次に変わった点は、知らないことと知っていることのお話です。自分は全然あの問題を解くことができませんでした。知らないことは、何の価値にもならず、調べることで

きないということを聞いて、とにかく知識の量を増やしていかないといけないと思いました。知らないということはとても恐ろしいものであると思いました。知らない、自分が正しいのか、間違っているのかにさえも気づくことができず、もし間違っていたら、そのまま間違っている方向に突き進んでしまうので、とても恐ろしいと思いました。最後に変わった点は、アナロジーは最も簡単に鍛えることができ、実際の社会にも役に立つことができるという点です。似ていることを探すということは非常にシンプルで、だれにでもマネできることであるが、経営戦略、ビジネスモデルの観点から比較しようとすると、先ほども記述した通り、知っていないと比較することができません。ですが、どんどん知識をつけていって、比較することのできるほどの知識をつけることができたならば、どんどん相似点を探していって、アナロジーの能力を鍛えていこうと思いました。(経営学部1年)

社会人生活の長さを考えると、キャリアについてきちんと考える時間が重要であることがよくわかりました。仕事の対価が何なのかという問いに対しては、金銭的報酬はすぐ思いつきましたが、社会的地位、仕事そのものという答えは思いつきませんでした。確かに、どこの企業で働いていて、そこでどんな地位についているかは、社会人にとって自分の身分の証明となり、人からの信頼を獲得するうえで非常に重要となると思います。サラリーマンとして企業で働くということは、仕事そのものを与えられているということなのだという言葉が印象に残りました。企業に勤めていなければ、何をすればいいか、何をすべきなのか自分ですべて考えなければいけないから、サラリーマンとして企業に勤めるということは、何も考えなくても仕事をもらうことができるということを意味しているということに、初めて気が付きました。

仕事の理想像は、好きなこと、得意なこと、世界から必要とされること、お金がもらえることの4つを満たすものだということを講演の中で聴いて、改めて理想の仕事を見つける難しさを感じました。どれか一つを満たすものが仕事になるわけではなく、4つを満たすもののみが自分の理想の仕事となるということを忘れず、意識し続けることが大事だと学びました。

講演の中で最も印象に残った言葉は、知っていても使えないこと、知らないことも知らないことのほうが、知っていて使えることよりずっと多いという言葉です。知りながら犯した罪より、知らずに犯した罪のほうが重いという名言を引き合いに出されていました。私は今まで「知らずに犯した罪より、知りながら犯した罪のほうが重い」のだと思っていました。知りながら犯した罪のほうが、故意に起こしたものだから悪質だと思っていましたが、知ろうとしなかったことで起こったもののほうが、その人自身の罪は重いという考え方もあるのだと思わせられました。今日の講演の中では、鋭いものの考え方を得ることができて刺激的でした。(経営学部1年)